

講習内容一覧

【必修講習】教育の最新事情	～ 6.8 時間 ～	8月5日（月）
教員として必要な資質能力が維持されるよう、最新の知識技能を身につけ、自信と誇りを持って教壇に立ち、社会の尊敬と信頼を得るために、教職についての省察並びに子どもの変化、教育政策の動向及び学校の内外における連携協力に関する理解について解説する。		
担当講師 西村貴之、杉浦 勉、瀧澤 聡、澤 聡一		

【選択必修講習】教育相談（いじめ及び不登校への対応を含む）	～ 6.8 時間 ～	8月6日（火）
現代社会の変容の中で、児童生徒等の抱える問題は多様化し深刻化しており、教育相談の果たす役割は益々重要になっています。本講習では、いじめや不登校への理解や対応について考察していくとともに、幼児・児童・生徒たちの困難な状況に対して教師は何ができるのかを考えていくことを目標とします。また、学校教育活動において活かされるよう、教育相談の実際、関係機関との連携などについても考察していきます。		
担当講師 飯田昭人、小坂守孝、新川貴紀		

受講対象者：幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校教諭及び養護教諭

【選択講習】子どもの育ち -体力・体験活動・傷害の予防-	～ 6.8 時間 ～	8月7日（水）
子どもの体力・運動能力の低下とともに、自己肯定感の低下や人間関係の希薄化などが指摘されています。本講義では、「体力向上と運動」について、また、体験が「生きる力」を培う基盤になるという観点から「体験活動の意義と成果」について、さらに、学校で突発的に発生する傷害を把握し予防する観点から「学校管理下における傷害発生の特徴と予防」について、現状と課題を整理し、子どもへの教育的配慮や知識の習得を目指します。		
担当講師 阿部 豊、大宮真一、杉岡品子、増山尚美		

【選択講習】地域とともに作る防災教育	～ 6.8 時間 ～	8月7日（水）
毎年のように起きる自然災害。学習指導要領でも「防災教育」の充実が求められています。自然災害はなぜ起きるのか、実際に災害が起きたときにはどうすればよいのか、学校ではどんな防災教育を行ったら良いのか、などについて、地域と学校とが連携して実施してる避難所設営についての演習なども通して学びます。		
担当講師 横山 光、千里政文		

【選択講習】セクシュアル・マイノリティと学校教育	～ 6.8 時間 ～	8月8日（木）
2015 年 4 月 30 日、文部科学省は性同一性障害や LGBT の児童生徒に対するきめ細やかな対応を全国の国公私立学校に求める通達を出しました。本講習では、セクシュアル・マイノリティに対する正しい理解と学校現場における支援や教育実践の在り方について受講生とともに考えてまいります。		
担当講師 西村貴之、渡辺大輔		

【選択講習】幼児から高校生までの造形美術教育・鑑賞教育	～ 6.8 時間 ～	8月8日（木）
学習指導要領等で示されている資質・能力を踏まえながら幼児期から青年期までの美術教育の連続性やその在り方についての理論研修を行い、その年齢だからできること、その年齢でやるべきことについての理解を深めるとともに、鑑賞の楽しいワークショップを通して美術的な「見方・考え方」についての理解を深めます。		
担当講師 林 亨、山崎正明		

受講対象者：幼・小・中・高・特支教諭（主として美術）

【選択講習】特別支援教育の今	～ 6.8 時間 ～	8月9日（金）
特別支援教育の根幹である児童生徒一人一人の教育的ニーズを理解し、生活や学習上の困難を改善又は克服するための適切な指導の在り方について考えます。具体的には幼稚園及び小・中学校、高等学校における支援体制、オリパラ教育と障がい者スポーツの推進、さらには児童生徒の行動上の問題の解決策について解説します。		
担当講師 阿部達彦、佐藤至英、石川 大、石塚誠之		

【選択講習】教育の課題として子どもの貧困を考える	～ 6.8 時間 ～	8月9日（金）
厚労省（2016）の『国民生活基礎調査』では、2015 年の子どもの貧困率は 13.9%であり、約 7 人に 1 人の子どもが相対的貧困の状態であるといえます。本講習では、貧困問題の要因を探るとともに、これまで貧困対策において取り組まれていること、特に、子どもたちの生活環境や学習環境を整えるための適切な支援について考察し、貧困状態にある子どもやその家族の困りごとや要望を重視する教育支援体制についても取り上げていくこととします。		
担当講師 飯田昭人		